西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究･研修、憩い、自然とのふれあいの『場』として開放しています。

農業クラブ活動

農業クラブに所属する１年生から３年生の生徒は、苗作りや畑作りを行い１年を通して様々な野菜や花を管理・栽培、さらには販売まで行い６次産業化について研究し理解を深めています。能代西高校の温室の中では、キャベツや白菜、トマトなど約15種類の野菜を栽培し、花卉では、マリーゴールドやベコニアなどを育てています。

この日は、種まきや挿し芽などで育てた苗を、別の苗床に一時移植する仮植の作業を行いました。担当の男子部員は、「ししとう」と「オクラ」の苗を１本１本丁寧にはしで掴みポットに移していきました。また、女性部員は能代西高祭や柳町商店街で定期的に販売している花の草取りや水まきを行いました。販売に向けて生徒達は愛情をこめて作業を行いました。

←販売に向けて栽培の取り組みに励む部員達

↑『農ガール』頑張ってます！

↑茎が折れないようやさしく仮植します

“ギシギシ”防除実習

みなさんは“ギシギシ”という雑草をご存知でしょうか？ギシギシは経年株が多くなれば結実した種子が圃場に落ち、その後だらだらと発生するため、数年かけて防除しなければ減らすことのできない強害雑草です。

能代西高農場の牧草地(1.5ha)にも“ギシギシ”が発生しており、生物資源系列の３年生が中心となって防除作業を行いました。生徒達はペットボトルで作った霧吹きを片手に広い農場に薬剤を散布していきました。この日は暑かったこともあり、腕まくりをする生徒や半袖で作業する生徒が見られました。

黄色いじゅうたん

能代西高農場の北側約30ａの牧草地を利用して、生徒達が10年以上前から栽培している菜の花畑には、連日多くの来場者が訪れます。毎年一般の方々にも開放しており、年間約３千人が来場されます。春は桜や菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスといった季節の花畑を楽しんで頂いております。生徒達が愛情込めて栽培した菜の花畑は、小さなお子様から年配の方まで広く愛され、憩いの場として親しまれています。

←生徒が案内役となり子どもと散策しました